

今後の主な検討課題について

平成24年度事業所母集団データベース研究会報告書や統計委員会における平成24年度統計法施行状況に関する審議において、以下の課題について検討を進めることとされている。

○企業組織構造の把握（「事業所・企業照会」業務の拡充）に関する検討

企業組織構造の変化を正確に把握することは、母集団情報の精度を維持するために不可欠であり、企業内の事業再構築や一部機能の分社化、さらには合併・分割を行った企業等に対する組織構造の変化を経常的に確認する方法が必要である。

このため、確認対象企業及び必要な整備方法について検討する必要がある。

○平成25年次フレーム等に関する検討について

当面記録する統計調査結果を有効活用して、25年以降の年次フレームを作成することとしているが、当該統計調査結果で、母集団全体のどの程度の事業所・企業の値を更新することが可能なのか、調査間でデータの整合性があるかなどについて、検証する必要がある。